

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
 くら べ きょう こく  
**黒部峡谷**  
 18  
 富山森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

◇**厳しい自然が生んだ神秘の景観**

**深き日本一のV字峡、黒部峡谷**

〔富山署〕黒部峡谷は、北アルプスのほぼ中央に位置する鷲羽岳に源を発し、長さ八十六キロメートル、標高差三千メートルにわたって、深いV字峡を刻みながら日本海へ達する大峡谷で、昭和九年十二月に中部山岳国立公園に指定されました。

峡谷は、立山・剣岳・薬師岳などの立山連峰と白馬岳・五竜岳・鹿島槍ヶ岳などの後立山連峰の間に、黒部川の浸食によって深く刻み込まれ、八千八谷といわれる多くの溪流を合わせながら、黒部川扇状地を経て富山湾の東側に注ぎ、春には冷たい雪解け水を含んでいます。

黒部峡谷流域の平均傾斜は三十六度と非常に勾配が強く、三十度から四十五度の部分が全体の七十割にも及びます。また、流域が豪雪地帯に位置するため、四季を通じて黒部川は水量が多く、また、河川勾配が平均四〇分の一と急で、流れも早いのが特徴です。また黒部川は、水

のきれいな川としても知られており、下流の黒部市生地に湧出する地下水は「全国名水百選」にも選ばれています。

宇奈月から森石駅を過ぎて中部山岳国立公園・特別名勝・特別天然記念物の黒部峡谷に入る、日本一深い谷を縫うように走る「トロッコ電車」の愛称で親しまれる黒部峡谷鉄道は、宇奈月から樺平までの約二十キロメートルを、平均時速十六km/hのスピードで約一時間二十分かけて走ります。

軌道の幅は新幹線の約半分の七六二ミリだが、JR在来線の七割程度のミニサイズですが、自動列車停止装置（ATS）や列車無線装置を完備した観光鉄道で、くぐるトンネルの数は四十一（最長一〇七三メートル）、橋を渡ること二十二回、春は新緑、夏は爽涼、秋は紅葉で手つかずの大自然にふれる旅に出てみては。



黒部峡谷の山並み



黒部の深いV字峡



峡谷を行くトロッコ電車

奥には「くろよん」で知られる黒部ダムが、静かに多くの水を湛えています。  
 ◇アクセス  
 宇奈月へは、JR魚津駅下車、富山地方鉄道（三十分）車では北陸道黒部IC下車、県道を十三キロメートル（約二十分）。